

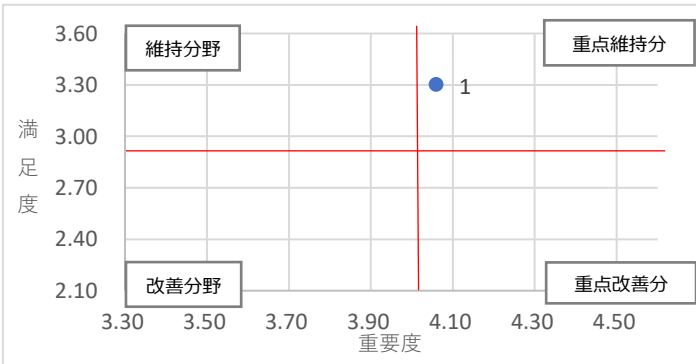
基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	図書館運営事業				所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
		●	●		●	●	
事業対象	町民、近隣住民	目的	図書館の運営及び各種事業の展開を図る。				
事業概要	図書、視聴覚資料の貸出や資料の紹介、おはなし会等の行事など、教養、調査、研究、レクリエーションに資する活動を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	04	03	大事業	図書館運営事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額		R 7 決算額		R 8 決算見込
			R 9 事業費				
	直接事業費	10,819	10,529		9,836		
	概算人件費	21,160	22,868		23,459		
	トータルコスト	31,979	33,397		33,295		0
	国庫/県支出金	0	0		0		0
	その他	69	55		44		0
	R 7 概算人件費	正規職員	1.37 人		7,425 千円		
		再任用職員	人		千円		
		会計年度任用職員	9.85 人		16,034 千円		
		その他	人		千円		
		合計			23,459 千円		

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	年間貸出者数(人)	計画値	80,121	81,000	81,000	81,000	72,500	47,250
		実績値		79,151	78,751	78,888		
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	生涯学習の振興	4.06	3.30
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	・利便性を図るため、特別館内整理休館期間（蔵書点検）について見直し、開館日数を2日増とした。 ・「ちいちゃいおはなし会」を土曜日に試行開催することで、平日に参加が難しい世帯の参加を促したほか、幅広い世代を対象とした新規の講座・イベントを行い、図書館へ来館するきっかけ作りを行った。 また、町Facebookへの定期的な投稿や、町公式LINEアカウントを使った情報発信に取り組んだ。
	課題	・子どもや子育て世代の利用促進を図るとともに、今後リニューアルを予定する中で、保健センターとの連携をはじめ、運営面について検討する必要がある。
今年度	成果（実績）	・令和6年度から開催している、「土曜日のちいちゃいおはなし会」や「相続・遺言講座」「親子で学ぶおこづかい教室」など図書館利用のきっかけづくりとなる事業を開催した。新たに、保健センターで開催している「でんでんむし」（子育て・健康課の事業）に職員が年2回出向いて、乳幼児向け絵本の読み聞かせ・利用案内を行った。 ・町公式LINEとFacebookを使った情報発信に積極的に取り組んだ。
	課題	・ラディアン大規模改修工事期間中のサービス体制の検討、リニューアル後の効果的・効率的な運営に向けた課題整理と体制検討を進める。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	要改善
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	1	方向性 要改善

基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	生涯学習センター管理運営事業				所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
			●		●	●	
事業対象	町民、町外住民	目的	生涯学習センター施設の維持管理及び運営を行う。				
事業概要	ホールや貸室の提供などを行い、生涯学習振興と生涯学習支援を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	04	05	大事業	生涯学習センター管理運営事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額	R 7 決算額	R 8 決算見込	R 9 事業費	
	直接事業費	70,272	73,361	108,607			
	概算人件費	1,061	1,262	1,703			
	トータルコスト	71,333	74,623	110,310	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	8,835	0	0	
	その他	18,037	18,063	18,369	0	0	
R 7 概算人件費	正規職員	0.41 人		1,703 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			1,703 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	ラディアン稼働率【戦略】 （％）	計画値	44.4	46.0	47.0	48.0	49.0	0.0
		実績値		45.5	45.5	45.7		
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	生涯学習の振興	4.06	3.30
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・引き続き利用者の居場所づくりを行うとともに、令和7年度に行う大規模改修実施設計に向け、リニューアルの検討などを行った。また、利用者が心配する大規模改修工事に伴う休館期間について2月に大枠(R9.1月からR10.12月)を決定し、ラディアン窓口やホームページにおいて、事前周知を開始した。
	課題	・開館より20年以上が経過し、老朽化による不具合が出ていることから、大規模改修まで適切な維持管理を行う。
今年度	成果（実績）	・大規模改修に向け実施設計を行うとともに、休館に向け代替施設の案内をラディアン窓口やホームページにおいて開始した。
	課題	・開館より20年以上が経過し、老朽化による不具合が出ていることから、大規模改修まで適切な維持管理を行う。 ・大規模改修に伴う休館により、青少年の居場所が確保できなくなることから、代替え場所について検討を行う。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	ふたみ記念館管理運営経費				所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
			●		●		
事業対象	町民、町外住民	目的	町民の文化振興の場として、ふたみ記念館を効果的に活用するための管理運営を行う。				
事業概要	観覧受付、館の維持管理、展示スペースの貸出業務等を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	04	05	大事業	ふたみ記念館管理運営事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額	R 7 決算額	R 8 決算見込	R 9 事業費	
	直接事業費	2,232	2,391	2,591			
	概算人件費	974	870	921			
	トータルコスト	3,206	3,261	3,512	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	85	77	66	0	0	
R 7 概算人件費	正規職員	0.23 人		921 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			921 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	年間来館者数（人）	計画値	468	480	480	480	480	480
		実績値		369	346	279		
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	文化振興・歴史の継承	3.68	3.03
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・来場促進を図るため、展示期間を前期と後期とに分け、展示作品を一部入れ替えることで、一度見た方も再度来館していただけるよう展示替えを行った。令和6年10月20日まで「利節の描いた女性たち」、展示替え後の10月26日から常設展「静物×麦たち」を開催。また、YouTubeにより展示概要の動画を掲載し、周知を図った。
	課題	・来館者増につながるよう、引き続き広報の方法等について検討をする必要がある。
今年度	成果（実績）	・来場促進を図るため、展示期間を前期と後期とに分け、展示作品を一部入れ替えることで、一度見た方も再度来館していただけるよう展示替えを行った。令和7年10月19日まで「静物×麦たち」、展示替え後の10月25日から常設展「二宮の洋画家が没後50年」を開催。また、YouTubeにより展示概要の動画を掲載し、周知を図った。
	課題	・来館者増につながるよう、引き続き広報の方法等について検討をする必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	要改善
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	要改善

基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	テニスコート施設管理運営事業				所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
			●		●		
事業対象	町民、町外住民	目的	町民の体力増進・健康維持及び体育の振興を図る。				
事業概要	テニスコート施設を整備し、管理運営を行う。						

事業予算								
会計	01	款項目	09	05	02	大事業	テニスコート施設管理運営事業	
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額		R 7 決算額		R 8 決算見込	R 9 事業費
	直接事業費	801	1,755		176			
	概算人件費	817	987		1,021			
トータルコスト		1,618	2,742		1,197		0	0
国庫/県支出金		0	0		0		0	0
その他		819	797		801		0	0
R 7 概算人件費		正規職員	0.33 人			1,021 千円		
		再任用職員	人			千円		
		会計年度任用職員	人			千円		
		その他	人			千円		
		合計			1,021 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	年間利用者数（人）	計画値	14,269	14,300	14,300	14,300	14,300	14,300
		実績値		13,542	12,361	12,511		
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	スポーツの振興	3.80	2.82
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・休日を中心として高い稼働率で利用されており、施設に職員を配置しない運営とすることで、コストを抑えて運営することができた。また、例年行う草刈委託について、防草シートを敷設することで長期的なコストを抑制することができた。
	課題	・例年、会計年度任用職員を中心として、ひび割れ等の軽微な修繕を行いながら運営をしている。今後、大規模改修を含め、テニスコートのあり方について検討していく必要がある。
今年度	成果（実績）	・休日を中心として高い稼働率で利用されており、施設に職員を配置しない運営とすることで、コストを抑えて運営することができた。また、令和6年度より敷設した防草シートにより、草刈りに係る委託費の削減が図られ、コストを抑制することができた。
	課題	例年、会計年度任用職員を中心として、ひび割れ等の軽微な修繕を行いながら運営をしている。今後、大規模改修を含め、テニスコートのあり方について検討していく必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

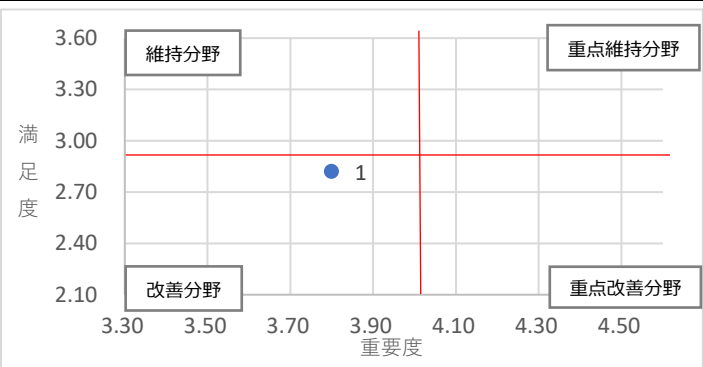
基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	武道館施設管理運営事業				所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
			●		●		
事業対象	町民、町外住民	目的	町民の体力増進、健康維持及び社会体育団体の振興を図る。				
事業概要	武道館施設の整備を行い、管理運営を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	05	02	大事業	武道館施設管理運営事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額		R 7 決算額		R 8 決算見込
							R 9 事業費
	直接事業費	776	975		900		
	概算人件費	1,008	953		911		
	トータルコスト	1,784	1,928		1,811		0
	国庫/県支出金	0	0		0		0
	その他	1,357	1,328		1,287		0
	R 7 概算人件費	正規職員	0.31 人		911 千円		
		再任用職員	人		千円		
		会計年度任用職員	人		千円		
		その他	人		千円		
		合計			911 千円		

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	年間利用者数（人）	計画値	17,656	17,700	17,700	17,700	17,700	17,700
		実績値		17,703	16,694	16,160		
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	スポーツの振興	3.80	2.82
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	・平日・休日に関わらず、高い稼働率で利用されている。利用団体が日常管理をすることで、職員を配置しない運営としており、コストを抑えることができています。
	課題	・公共施設再配置・町有地有効活用実施計画（改定追補版）では、駅前複合施設へ機能移転することとなっているため、それまでは適切な維持管理をするとともに、徐々に、団体の活動場所を他施設へ誘導するなど、機能移転の際に大きな混乱を生じさせないよう、努める必要がある。
今年度	成果（実績）	・平日・休日に関わらず、高い稼働率で利用されている。利用団体が日常管理をすることで、職員を配置しない運営としており、コストを抑えることができています。
	課題	・公共施設再配置・町有地有効活用実施計画（改定追補版）では、駅前複合施設へ機能移転することとなっているため、それまでは適切な維持管理をするとともに、徐々に、団体の活動場所を他施設へ誘導するなど、機能移転の際に大きな混乱を生じさせないよう、努める必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」			
1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性
			現状維持
2次評価（庁内）	意見		
	総合評価	良好	方向性
			現状維持

基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	町立体育館施設管理運営事業				所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
			●		●		
事業対象	町民、町外住民	目的	町民の体力増進、健康維持及び社会体育団体の振興を図る。				
事業概要	町立体育館施設を整備し、管理運営を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	05	02	大事業	町立体育館施設管理運営事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額	R 7 決算額	R 8 決算見込	R 9 事業費	
	直接事業費	4,794	3,455	5,483			
	概算人件費	7,351	8,890	8,692			
	トータルコスト	12,145	12,345	14,175	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	5,499	5,590	5,374	0	0	
	R 7 概算人件費	正規職員	0.27 人	1,021 千円			
		再任用職員	人	千円			
		会計年度任用職員	6 人	7,671 千円			
		その他	人	千円			
		合計		8,692 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	年間利用者数（人）	計画値	54,979	55,000	60,000	60,000	60,000	60,000
		実績値		58,544	54,429	53,872		
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	スポーツの振興	3.80	2.82
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・平日・休日ともに高い稼働率で利用されている。
	課題	・空いている予約枠の有効活用や施設の修繕の実施時期を精査しながら運営をしていく必要がある。 ・公共施設再配置・町有地有効活用実施計画（改定追補版）では、令和8・9年度に実施設計及び改修工事をするとしているため、利用団体の活動に配慮しながら進める必要がある。
今年度	成果（実績）	・平日・休日ともに高い稼働率で利用されている。
	課題	・空いている予約枠の有効活用や施設の修繕の実施時期を精査しながら運営をしていく必要がある。 ・公共施設再配置・町有地有効活用実施計画（改定追補版）では、令和8・9年度に実施設計及び改修工事をするとしているが、大掛かりな改修工事を単年度内で実施することが難しいため、優先順位をつけて部分的に進める。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	町民運動場施設管理運営事業				所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
			●		●		
事業対象	町民、町外住民	目的	町民の体力増進、健康維持及び社会体育の振興を図る。				
事業概要	町民運動場の管理運営を行う。						

事業予算								
会計	01	款項目	09	05	02	大事業	町民運動場施設管理運営事業	
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額		R 7 決算額		R 8 決算見込	R 9 事業費
	直接事業費	8,871	8,125		6,627			
	概算人件費	7,273	7,162		6,858			
トータルコスト		16,144	15,287		13,485		0	0
国庫/県支出金		0	0		0		0	0
その他		1,902	1,952		0		0	0
R 7 概算人件費		正規職員	0.27 人			1,021 千円		
		再任用職員	人			千円		
		会計年度任用職員	6 人			5,837 千円		
		その他	人			千円		
		合計			6,858 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	年間利用者数（人）	計画値	39,729	39,800	44,000	44,000	44,000	44,000
		実績値		43,411	38,858	38,917		
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	スポーツの振興	3.80	2.82
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・予約キャンセルへの対策を行なったことにより、適切な運用ができています。
	課題	・大規模改修の内容について、検討を進める。
今年度	成果（実績）	・予約キャンセルへの対策を行なったことにより、適切な運用ができています。
	課題	・大規模改修の内容について、検討を進める。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	山西プール施設管理運営事業				所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
			●		●		
事業対象	町民、町外住民	目的	町民の体力増進、健康維持及び社会体育団体の振興を図る。				
事業概要	7月から8月にかけて山西プール施設を開設し、管理運営を行う。						

事業予算								
会計	01	款項目	09	05	02	大事業	山西プール施設管理運営事業	
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額		R 7 決算額		R 8 決算見込	R 9 事業費
	直接事業費	11,756	14,053		18,822			
	概算人件費	1,064	1,118		1,021			
トータルコスト		12,820	15,171		19,843		0	0
国庫/県支出金		0	0		0		0	0
その他		843	814		0		0	0
R 7 概算人件費		正規職員	0.26 人			1,021 千円		
		再任用職員	人			千円		
		会計年度任用職員	人			千円		
		その他	人			千円		
		合計			1,021 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	年間利用者数（人）	計画値	5,469	5,500	5,800	5,800	5,800	5,800
		実績値		7,312	8,301	5,330		
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	スポーツの振興	3.80	2.82
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・学校プールの授業日数確保のため、開設期間を9月中旬まで試行延長したこと(台風の罹災により実質開設期間は1週間)、また、猛暑日が続いたことで、利用者が増加した。
	課題	・町内で稼働している唯一のプールで、学校の水泳授業にも利用されている。施設の老朽化が著しいため、大規模改修に伴う設計を令和7・8年度の2カ年で実施し、施設の長寿命化や気候変動対策等を盛り込んだ改修内容としていく必要がある。
今年度	成果（実績）	・小学校のプール授業がスポーツクラブで実施されることとなったため、利用者数が減少した。また、大規模改修に向けた設計委託では、利用者や住民の声を反映した基本構想を策定した。令和8年度は、より詳細な設計業務を行う。
	課題	・町内で稼働している唯一のプールで、学校の水泳授業にも利用されている。施設の老朽化が著しいため、大規模改修に伴う設計を令和7・8年度の2カ年で実施し、施設の長寿命化や気候変動対策等を盛り込んだ改修内容としていく必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	拡大・拡充
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	拡大・拡充

基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	文化振興事業				所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
				●	●	●	
事業対象	町民	目的	町民の文化・芸術活動を奨励し、活動を通じて町民相互の交流を深め、心豊かであるおいのある生活ができるよう支援する。				
事業概要	町文化祭、ピアノマラソンコンサート等を開催する。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	04	05	大事業	文化振興事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額	R 7 決算額	R 8 決算見込	R 9 事業費	
	直接事業費	309	286	290			
	概算人件費	1,046	968	933			
	トータルコスト	1,355	1,254	1,223	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	148	160	150	0	0	
R 7 概算人件費	正規職員	0.23 人		933 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			933 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	文化祭来場者数（人）	計画値	2,946	2,946	3,900	4,100	4,300	4,500
		実績値		3,634	3,797	4,184		
②	ピアノマラソンコンサート参加者数（人）	計画値	76	80	80	80	80	80
		実績値		90	86	83		

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	文化振興・歴史の継承	3.68	3.03
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・例年の事業運営に加え、文化祭期間に合わせ中学生が制作したステンドグラスを初めて展示することで、幅広い年代の芸術発表の場とするとともに、町民が文化や芸術に触れる機会をつくり、多くの町民の参加や来場につながった。
	課題	・文化や芸術に触れる機会の提供に継続して取り組む必要がある。
今年度	成果（実績）	・例年の事業運営を行い、昨年度同様中学生が制作したステンドグラスの展示を行った。 ・ピアノマラソンコンサートは例年より申込数が多く、終了時間を超える見込みとなったため抽選を行った。
	課題	・会場であるラディアンが大規模改修により休館するが、事業の規模的に代替施設での実施が難しい場合がある

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	文化財保護普及啓発事業				所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●		●		●		
事業対象	町民、文化財保有者	目的	町の文化財保護推進を図り、歴史や文化財を町民に周知し、文化財保護の思想を高め、町を愛する心を養う。				
事業概要	学芸員を配置し、文化財保護に関する事務事業を行う。また、町指定文化財の管理運営を補助する。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	04	04	大事業	文化財保護普及啓発事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額	R 7 決算額	R 8 決算見込	R 9 事業費	
	直接事業費	236	223	236			
	概算人件費	2,132	2,182	2,514			
	トータルコスト	2,368	2,405	2,750	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	64	31	35	0	0	
	R 7 概算人件費	正規職員	0.08 人	389 千円			
		再任用職員	人	千円			
		会計年度任用職員	1 人	2,125 千円			
		その他	人	千円			
		合計		2,514 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	—	計画値						
		実績値						
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	文化振興・歴史の継承	3.68	3.03
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・町指定文化財の適切な保護のため支援を行った。また、文化財保護普及啓発のため、ラディアンに空いている壁面を活用し、パネル展示を開催した。
	課題	・歴史、文化に触れる機会の提供に継続して取り組む必要がある。
今年度	成果（実績）	・町指定文化財の適切な保護のため支援を行った。また、文化財保護普及啓発のため、パネル展示をラディアンで行われた町制90周年事業の日程に合わせるとともに、当日は作成した町の歴史に関する動画をモールで再生した。
	課題	・歴史、文化に触れる機会の提供に継続して取り組む必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

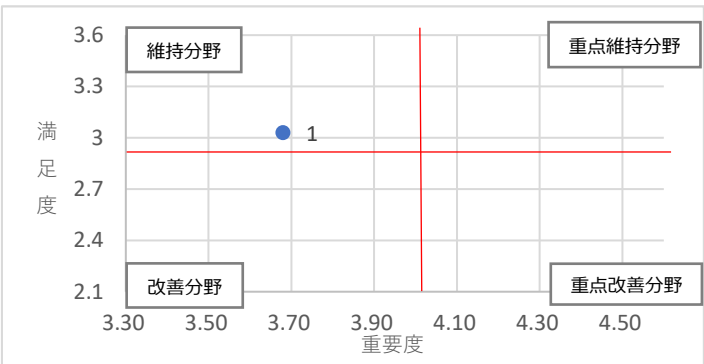
基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	伝統芸能保存事業				所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）		総合戦略
				●	●		
事業対象	町民	目的	郷土に伝わる芸能を幅広く町民に知っていただき、その保存と育成を目指す。				
事業概要	民俗芸能のつどいの開催や団体の育成を図る。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	04	04	大事業	伝統芸能保存事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額		R 7 決算額		R 8 決算見込
							R 9 事業費
	直接事業費	423	466		458		
	概算人件費	272	648		253		
	トータルコスト	695	1,114		711		0
	国庫/県支出金	0	0		0		0
	その他	153	180		157		0
	R 7 概算人件費	正規職員	0.06 人		253 千円		
		再任用職員	人		千円		
		会計年度任用職員	人		千円		
		その他	人		千円		
		合計			253 千円		

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	民俗芸能のつどい観覧者数（人）	計画値	332	405	590	590	590	590
		実績値		590	580	578		
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	文化振興・歴史の継承	3.68	3.03
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	・民俗芸能のつどいを開催し、多くの来場者があった。今年度は50回記念として、町内の神輿保存会を招待し、神輿を舞台上で担いだ。
	課題	・歴史、文化に触れる機会の提供に継続して取り組む必要がある。
今年度	成果（実績）	・民俗芸能のつどいを開催し、多くの来場者があった。 ・少子化に伴い加入人数が減少していることから、新年度の配布に向け、民芸連加盟団体の人員募集チラシの作成に協力した。
	課題	・歴史、文化に触れる機会の提供に継続して取り組む必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」			
1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性
			現状維持
2次評価（庁内）	意見		
	総合評価	適当	方向性
			現状維持

基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	埋蔵文化財調査事業				所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●				●		
事業対象	町民、事業者	目的	埋蔵文化財保護のための各種事務事業を行う。				
事業概要	埋蔵文化財包蔵地内の開発行為等において、必要に応じて試掘調査を行う。また、県への届出等事務処理を行う。						

事業予算								
会計	01	款項目	09	04	04	大事業	埋蔵文化財調査事業	
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額		R 7 決算額		R 8 決算見込	R 9 事業費
	直接事業費	605	460		350			
	概算人件費	458	573		668			
トータルコスト		1,063	1,033		1,018		0	0
国庫/県支出金		0	0		0		0	0
その他		0	0		0		0	0
R 7 概算人件費		正規職員	0.05 人			220 千円		
		再任用職員	人			千円		
		会計年度任用職員	1 人			448 千円		
		その他	人			千円		
		合計			668 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	—	計画値						
		実績値						
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	文化振興・歴史の継承	3.68	3.03
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・埋蔵文化財包蔵地内において適切な開発行為が行われるよう的確な指導、助言を実施した。試掘調査実績は1件であった。
	課題	・埋蔵文化財発掘調査専門職には発掘実績など県が定める基準があるが、それを満たせる者が少なく、後任の雇用に課題がある。
今年度	成果（実績）	・埋蔵文化財包蔵地内において適切な開発行為が行われるよう的確な指導、助言を実施した。試掘調査実績2件であった。
	課題	・埋蔵文化財発掘調査専門職には発掘実績など県が定める基準があるが、それを満たせる者が少なく、後任の雇用に課題がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」			
1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性
2次評価（庁内）	意見		
	総合評価	適当	方向性

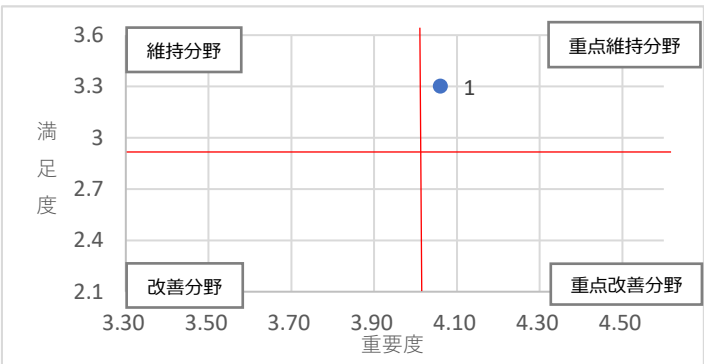
基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	にのみや町民大学推進事業				所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●		
事業対象	町民	目的	学習機会の提供や学習相談や情報提供などの学習支援を行い、町民の生涯学習の推進を図る。				
事業概要	講座の開設と併せ、生涯学習指導者の養成・育成を行い、町民が主体となった町民大学を開催する。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	04	05	大事業	にのみや町民大学推進事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額		R 7 決算額		R 8 決算見込
							R 9 事業費
	直接事業費	404	413		433		
	概算人件費	1,374	614		1,097		
	トータルコスト	1,778	1,027		1,530		0
	国庫/県支出金	0	0		0		0
	その他	75	107		98		0
	R 7 概算人件費	正規職員	0.05 人		206 千円		
		再任用職員	人		千円		
		会計年度任用職員	1.0 人		891 千円		
		その他	人		千円		
		合計			1,097 千円		

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	講座の年間募集人数に対する充足率(%)	計画値	100	100	100	100	100	100
		実績値		92	81.4	116.4		
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	生涯学習の振興	4.06	3.30
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	・全体としては計画値に届いていないが、充足率が100%を超えた講座もあり、多様な学習講座の企画により、多世代の交流の場となるような講座の開催や参加者同士での継続学習につながった講座もあるなど、生涯学習の推進が図られている。
	課題	・講座を企画・運営する生涯学習ボランティアは、高齢化とともに会員数が減少してきている。また、講座申込の充足率が下がったため、講座の内容や参加募集の広報についても検討する必要がある。
今年度	成果（実績）	・全体として充足率が100%を超えており、多様な学習講座の企画により、多世代の交流の場となるような講座の開催や参加者同士での継続学習につながった講座もあるなど、生涯学習の推進が図られている。
	課題	・講座を企画・運営する生涯学習ボランティアは、高齢化とともに会員数が減少してきている。また、主な会場であるウディアンが大規模改修工事に伴い休館となるため、会場や実施方法について検討する必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	図書館資料整備事業				所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
		●	●		●		
事業対象	町民、近隣住民	目的	図書資料の整備に努め、情報提供の場をつくり、サービスの向上を図る。				
事業概要	図書館資料の選択・収集・整理を行い、利用に供する。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	04	03	大事業	図書館資料整備事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額	R 7 決算額	R 8 決算見込	R 9 事業費	
	直接事業費	7,278	7,107	7,141			
	概算人件費	13,745	14,933	15,887			
	トータルコスト	21,023	22,040	23,028	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	1	0	0	
R 7 概算人件費	正規職員	0.75 人		4,241 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	7.15 人		11,646 千円			
	その他	人		千円			
	合計			15,887 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	－	計画値						
		実績値						
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	生涯学習の振興	4.06	3.30
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・定期的な受入れと除籍を行い、資料の鮮度維持に努めた。 ・ラディアン大規模改修工事に向けて、除籍作業を進めた。
	課題	・引き続き、ラディアン大規模改修工事に向けて、蔵書の整理と除籍作業を進める必要がある。
今年度	成果（実績）	・定期的な受入れと除籍を行い、資料の鮮度維持に努めた。 ・ラディアン大規模改修工事に向けて、除籍作業を進めた（令和7年度図書除籍冊数9,797冊）。
	課題	・多様化する利用者ニーズに応えられる選書・蔵書構成の構築。 ・引き続き、ラディアン大規模改修工事に向けて、蔵書の整理と除籍作業を進める必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

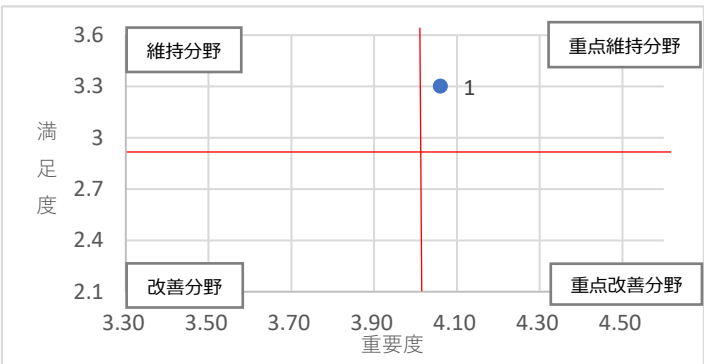
基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	社会教育委員経費				所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
		●	●		●		
事業対象	町民	目的	諸計画の立案、教育委員会からの諮問への答申等、社会教育に関し教育委員会に助言する社会教育委員を置く。				
事業概要	社会教育振興のための会議を開催し、関係事業についての調査研究を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	04	01	大事業	社会教育委員経費
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額		R 7 決算額		R 8 決算見込
							R 9 事業費
	直接事業費	243	223		193		
	概算人件費	936	894		876		
	トータルコスト	1,179	1,117		1,069		0
	国庫/県支出金	0	0		0		0
	その他	0	0		0		0
	R 7 概算人件費	正規職員	0.19 人		876 千円		
		再任用職員	人		千円		
		会計年度任用職員	人		千円		
		その他	人		千円		
		合計			876 千円		

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	—	計画値						
		実績値						
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	生涯学習の振興	4.06	3.30
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	・年6回の会議を開催し、社会教育の推進に関する協議を行った。
	課題	・ラディアンの大規模改修や図書館のリニューアルなどの計画や各事業の方向性などについて協議しながら、よりよい社会教育のあり方を検討していく必要がある。
今年度	成果（実績）	・年6回の会議を開催し、社会教育の推進に関する協議を行った。
	課題	・ラディアンの大規模改修や図書館のリニューアル、山西プールの大規模改修などの計画についてや、各事業の方向性などについて協議しながら、よりよい社会教育のあり方を検討していく必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	青少年育成地域活動事業				所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
		●	●		●		
事業対象	町民	目的	青少年指導員の指導・助言により、地域青少年の健全育成を図る。				
事業概要	青少年育指導員によるジュニアリーダーの養成、広域連携中学生交流洋上体験研修など、青少年の健全育成に資する事業を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	04	02	大事業	青少年育成地域活動事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額	R 7 決算額	R 8 決算見込	R 9 事業費	
	直接事業費	1,136	990	1,070			
	概算人件費	1,061	1,091	1,004			
	トータルコスト	2,197	2,081	2,074	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 7 概算人件費	正規職員	0.25 人		1,004 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			1,004 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	青少年育成支援事業数	計画値	4	4	6	6	6	6
		実績値		6	7	6		
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	青少年の健全育成	3.76	3.06
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・昨年に引き続き、日ごろの成果を発表する場として青少年によるダンスの発表会を開催した。今回は司会として中学生のボランティアが参加するなど、参加体験の場ともなった。
	課題	・感染症の流行に伴い、事業が実施できないまま、委員の改選を迎えたこともあり、委員の知識・技術の向上に課題がある。 ・青少年の生活も変化してきており、今後の活動のあり方についての検討が必要である。
今年度	成果（実績）	・昨年に引き続き、日ごろの成果を発表する場として青少年によるダンスの発表会である「Vamos”Live 2026」を開催した。司会や受付として中学生のボランティアが参加し、参加体験の場ともなった。
	課題	・“Vamos”Liveの会場であるラディアンが大規模改修工事に伴う休館に入ること、また、来年度は改選期にあたり、選任方法を地区推薦から公募型に変更するなど、青少年指導員の体制も変化することから、青少年指導員の活動のあり方についての検討が引き続き必要である。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	要改善
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	要改善

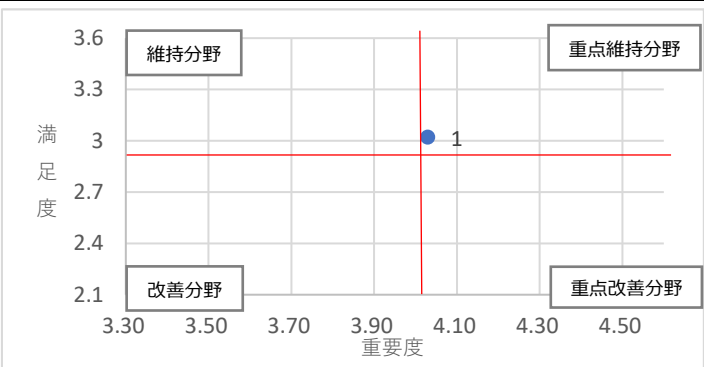
基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	子ども会活動支援事業				所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●		
事業対象	町民	目的	子どもたちの健全育成のため、各種活動を通して、友情・協力・奉仕の精神を培い、心豊かに育つよう、子ども会活動の支援に努める。				
事業概要	子ども会指導者研修会の実施や子ども会活動への事業補助を行う。						

事業予算								
会計	01	款項目	09	04	02	大事業	子ども会活動支援事業	
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額		R 7 決算額		R 8 決算見込	R 9 事業費
	直接事業費	1,008	1,073		0			
	概算人件費	54	54		51			
トータルコスト		1,062	1,127		51		0	0
国庫/県支出金		0	0		0		0	0
その他		0	0		0		0	0
R 7 概算人件費		正規職員	0.01 人			51 千円		
		再任用職員	人			千円		
		会計年度任用職員	人			千円		
		その他	人			千円		
		合計			51 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	子ども会加入率（％）	計画値	61.2	61.2	61.2	61.2	61.2	61.2
		実績値		59.9	56.9	49.5		
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	地域と連携した教育活動の充実	4.03	3.02
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	・野外研修として、野外炊事をメインとした「にのっこデイキャンプ(6年生対象)」とクイズラリーなどの「野外をあそぼう(全学年対象)」を開催し、子ども達に自主性や協調性を身に着ける機会を創出した。また、青少年指導員やスポーツ推進委員と協力して事業を運営することで、三団体の連携を図った。
	課題	・令和7年度末で子ども会育成会連絡協議会が解散の方向となった。
今年度	成果（実績）	・子育連の最後の事業として、「野外をあそぼう(全学年対象)」を開催し、子ども達に自主性や協調性を身に着ける機会を創出した。
	課題	・子ども会育成会連絡協議会の解散により事業が廃止となるため、代わりの受け皿となる放課後子ども教室や青少年指導員による活動などを充実させる必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	休・廃止
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	休・廃止

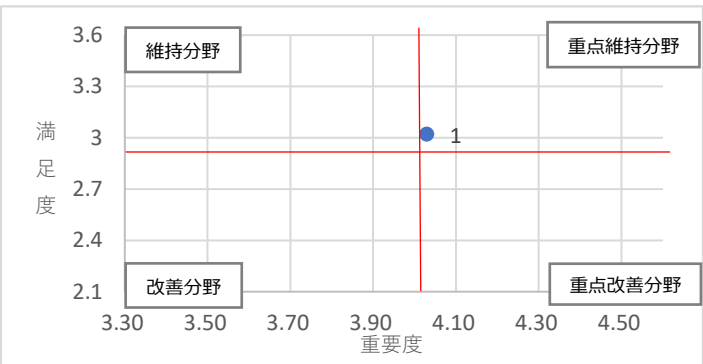
基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	20歳のつどい関係経費				所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
				●	●		
事業対象	町民	目的	新たに成人した青年たちを祝福し、社会人としての自覚と責任について認識していただき、二宮町民としての意識の高揚に努める。				
事業概要	新成人による実行委員会を組織し、祝賀会の企画運営を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	04	02	大事業	20歳のつどい関係経費
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額		R 7 決算額		R 8 決算見込
							R 9 事業費
	直接事業費	108	110		114		
	概算人件費	745	711		676		
	トータルコスト	853	821		790		0
	国庫/県支出金	0	0		0		0
	その他	0	0		0		0
R 7 概算人件費	正規職員	0.17 人		676 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			676 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	祝賀会式典参加率（％）	計画値	72.1	72.1	73.0	74.0	75.0	76.0
		実績値		70.6	74.0	75.1		
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	地域と連携した教育活動の充実	4.03	3.02
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	・20歳を迎えた方の他、昨年度同様、親の式典会場への入場も可能とした。 ・ラディアンの大規模改修に伴う閉館期間中の代替え会場の検討として、今年度の実行委員に意見を求めた。
	課題	・親の会場への入場については、定員の都合上1名のみとしており、周知方法などに課題がある。 ・ラディアンの閉館期間中の会場については引き続き検討が必要である。
今年度	成果（実績）	・20歳を迎えた方の他、昨年度同様、親の式典会場への入場も可能とした。 ・ラディアンの大規模改修に伴う閉館期間中の代替え会場の検討として、今年度の実行委員に意見を求めた。
	課題	・保護者の入場については、ホールの定員の都合上1名のみとしており、周知方法などに課題がある。 ・ラディアンの閉館期間中の会場については引き続き検討が必要である。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」			
1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性
			現状維持
2次評価（庁内）	意見		
	総合評価	適当	方向性
			現状維持

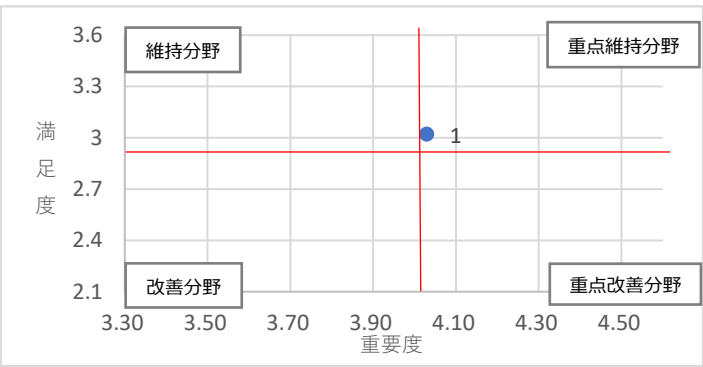
基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	地域学校協働活動推進事業				所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）		総合戦略
			●		●		●
事業対象	町民、学校職員		目的	コミュニティ・スクールの枠組みを活用し、地域学校協働活動の推進を図る。			
事業概要	放課後子ども教室など、学校と連携し、地域の教育力を生かした子どもの健全育成事業を実施。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	04	05	大事業	地域学校協働活動推進事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額	R 7 決算額	R 8 決算見込	R 9 事業費	
	直接事業費	1,702	1,694	1,678			
	概算人件費	3,011	2,049	2,432			
	トータルコスト	4,713	3,743	4,110	0	0	
	国庫/県支出金	995	1,068	1,063	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 7 概算人件費	正規職員	0.38 人		1,538 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	1.0 人		894 千円			
	その他	人		千円			
	合計			2,432 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	放課後子ども教室の登録率【戦略】（%）	計画値	26.9	27.0	27.5	28.0	28.5	29.0
		実績値		41.9	41.1	43.0		
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	地域と連携した教育活動の充実	4.03	3.02
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	・放課後の居場所として、各校12回開催した。また、参加者の増加に伴い、参加人数に対するスペースが十分に確保できないことから、これまでの二宮小学校と同様に、山西小学校においても偶数学年と奇数学年に分けて開催した。
	課題	・二宮小学校と山西小学校については、スペースの問題から偶数学年と奇数学年とに分けて実施している。そのため、一人の児童が参加できる回数に差が生じている。サポーターの負担や予算の確保についても考慮しながら、実施回数について検討が必要である。
今年度	成果（実績）	・放課後の居場所として、町内各小学校で開催した（二宮小11回、一色小14回、山西小15回）。また、試行的に保護者が一緒に参加できるよう、各校休日にも開催した。
	課題	・休日開催は参加率が低く、サポーターから負担との意見もあったため、各校一律での実施は検討が必要である。 ・二宮小学校と山西小学校については、スペースの問題から偶数学年と奇数学年とに分けて実施している。そのため、一人の児童が参加できる回数に差が生じているおり、実施方法や回数について検討が必要である。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

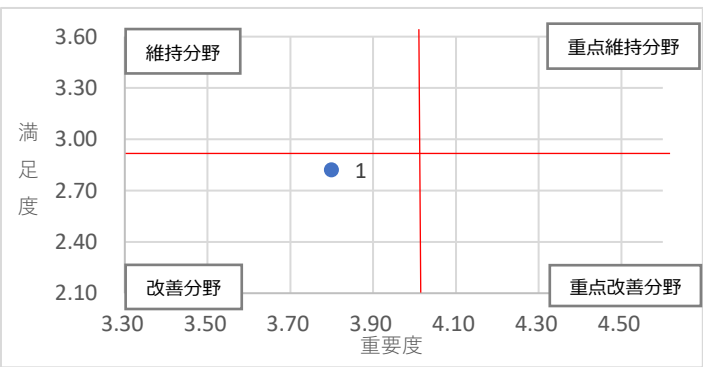
基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	スポーツ推進委員活動事業				所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●		●		●		
事業対象	町民		目的	地域のスポーツ・レクリエーション活動を推進する。			
事業概要	ユニカールなどのニュースポーツ普及活動や各団体等と連携しながら、町民がスポーツにふれる機会づくりに努める。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	05	01	大事業	スポーツ推進委員活動事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額		R 7 決算額		R 8 決算見込
			R 9 事業費				
	直接事業費	536	562		539		
	概算人件費	625	721		534		
	トータルコスト	1,161	1,283		1,073		0
	国庫/県支出金	0	0		0		0
	その他	0	0		0		0
	R 7 概算人件費	正規職員	0.23 人		534 千円		
		再任用職員	人		千円		
		会計年度任用職員	人		千円		
		その他	人		千円		
		合計			534 千円		

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	スポーツにふれる機会づくりの創出（回）	計画値	3	4	5	6	7	8
		実績値		4	8	12		
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	スポーツの振興	3.80	2.82
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	・3団体（スポーツ推進委員・青少年指導員・子育て連）交流事業やユニカール体験会等を開催するなど、スポーツにふれる機会を創出し、委員の知識・技術の向上を図るため研修会を実施した。
	課題	・スポーツ振興や健康増進等を図るため、スポーツにふれる機会を創出していく必要がある。 ・地区推薦となっているスポーツ推進委員について、地区の負担軽減及び活動実態に見合った選出方法を見出す必要がある。
今年度	成果（実績）	・これまでのユニカール体験会等に、各小中学校でニュースポーツ体験会を開催するなど、スポーツにふれる機会を増やした。
	課題	・運動をするきっかけづくりの場となるように、ニュースポーツ体験会等の開催回数を増やして実施してきているが、来年度は改選期にあたり、選任方法を地区推薦から公募型に変更するなど、スポーツ推進委員の体制も変化することから、より多くの方にきっかけを与えられるよう、活動のあり方についての検討が引き続き必要である。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	要改善
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	要改善

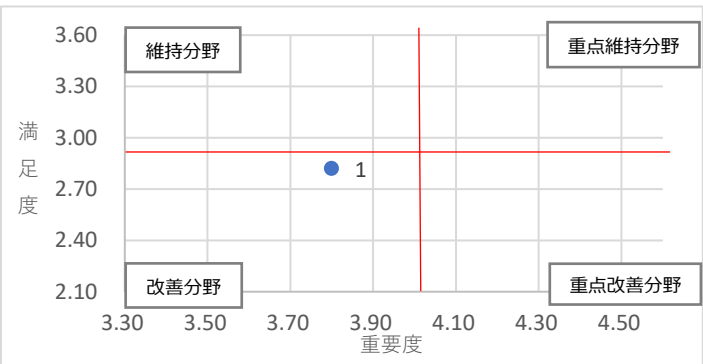
基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	社会体育推進事業				所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
				●	●		
事業対象	町民	目的	社会体育振興のため、各種スポーツ活動の推進を図る。				
事業概要	町スポーツ協会への補助等を行う。						

事業予算								
会計	01	款項目	09	05	01	大事業	社会体育推進事業	
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額		R 7 決算額		R 8 決算見込	R 9 事業費
	直接事業費	925	1,053		489			
	概算人件費	726	807		534			
トータルコスト		1,651	1,860		1,023		0	0
国庫/県支出金		0	0		0		0	0
その他		0	0		0		0	0
R 7 概算人件費		正規職員	0.23 人			534 千円		
		再任用職員	人			千円		
		会計年度任用職員	人			千円		
		その他	人			千円		
		合計			534 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	—	計画値						
		実績値						
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	スポーツの振興	3.80	2.82
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	・スポーツフェスティバルの開催、あるいはスポーツ団体における研修事業等が開催されるとともに、町民がスポーツ参加するための受け皿となるよう、所属団体の運営支援が行われるなど、補助金が有効活用されていることを確認した。 また、前年度の課題解消に向けて、団体への補助金額を一律とする内容で補助要綱を改正した。
	課題	・団体育成経費について見直しを図るため、令和7年度4月施行で要綱改正を行う必要がある。
今年度	成果（実績）	・スポーツフェスティバルの開催やスポーツ団体における研修事業が開催されるとともに、町民がスポーツをするための受け皿となるよう、所属団体による無料体験会が実施され、これらへの補助金が有効活用されていることを確認した。
	課題	・スポーツ協会主催のスポーツフェスティバルについて、より効果のある企画とするための検討が必要である。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

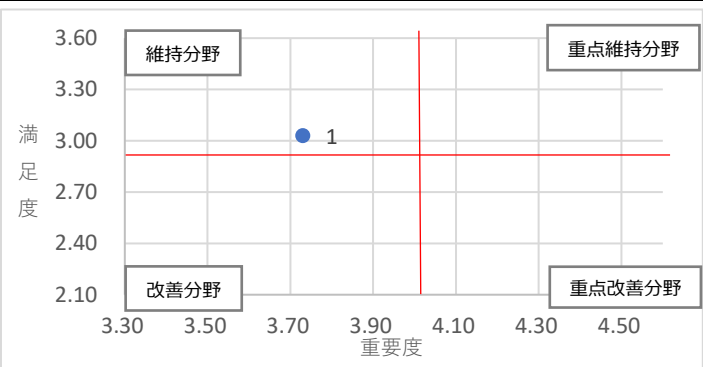
基礎評価シート（令和 7 年度 実績）

予算等事業名	人権教育推進事業				所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）		総合戦略
	●				●		
事業対象	町民		目的	人権に対する理解と認識を深められるよう、研修会等を開催する。			
事業概要	人権教育研修会の開催や参考資料の収集を行う。						

事業予算								
会計	01	款項目	09	04	05	大事業	人権教育推進事業	
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額		R 7 決算額		R 8 決算見込	R 9 事業費
	直接事業費	42	42		0			
	概算人件費	335	294		35			
トータルコスト		377	336		35		0	0
国庫/県支出金		0	0		0		0	0
その他		0	0		0		0	0
R 7 概算人件費		正規職員	0.01 人			35 千円		
		再任用職員	人			千円		
		会計年度任用職員	人			千円		
		その他	人			千円		
		合計			35 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	人権教育研修会参加者数（人）	計画値	122	25	25	25	25	25
		実績値		25	19			
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和 3 年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	人権・平和の推進	3.73	3.03
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	・今年度は町立小中学校の人権教育担当者会と合同開催し、教育現場等で役立ててもらおうと教職員と社会教育関係者を対象に、LGBRQについて研修会を行った。
	課題	・人権における問題は多岐にわたっており、ニーズを把握しながら、研修会のテーマを選定していく必要がある。 ・令和 7 年度は教育委員会として一体的な事業とするため、教育指導課に予算を移管する。
今年度	成果（実績）	
	課題	

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	統廃合
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	統廃合